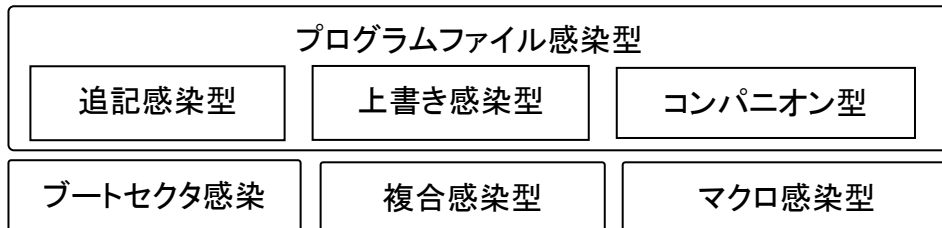


## (2) コンピュータウイルスの種類

### ■ 感染先による分類

ウイルスは、その感染先で以下のように分類できます。

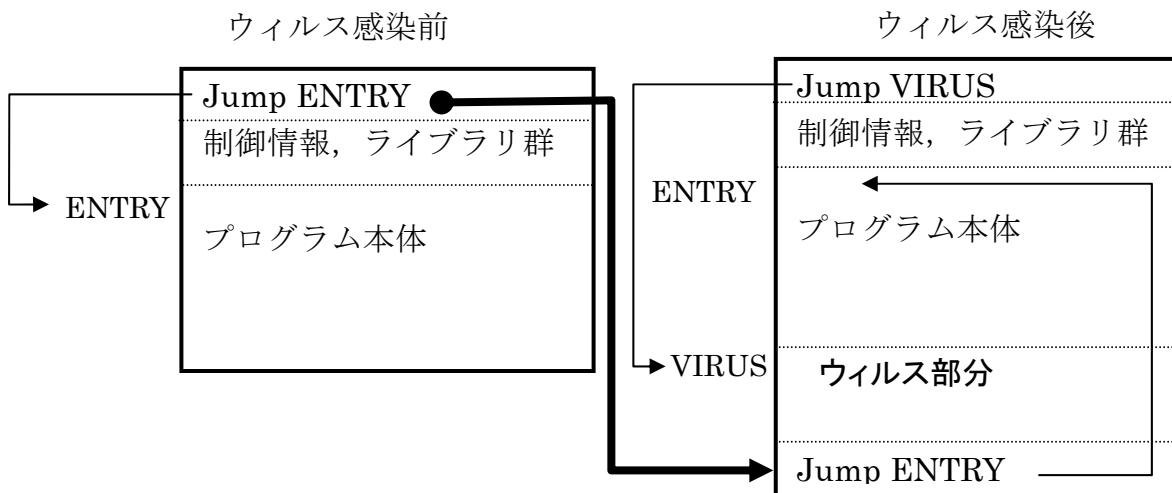


#### (a) 上書き感染型

ファイルの先頭部分をウイルスで置きかえるものです。ウイルス感染直後、プログラム本来の動きをしなくなったり、異常終了することが多いので、感染したことがすぐに分かります。

#### (b) 追記感染型

ファイルの最後に追記した形で取り付きます。



ウィルス部分で日付をチェックし、発病する日でなければ単に元々のプログラム本体にジャンプします。発病する日であればウィルス部分に組み込まれた発病処理を実行するわけです。後で述べるステルス型の処理が組み込まれていなければ、ファイルサイズが変化します。